
第8報 平成23年4月8日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

財団法人 経済調査会

【鉄鋼製品】

住友金属工業鹿島製鉄所は、溶接軽量H形鋼、鋼管杭、大径管に続き、厚板工場が稼動を再開。東京製鐵のH形鋼生産拠点である宇都宮工場でも、圧延工程に続いて、4月2日より製鋼工程の操業を再開。東京鉄鋼八戸工場でも津波被害の復旧作業が終了し、通常の操業水準で稼動を再開した。

【セメント】

仙台港・小名浜港に集中していたセメントメーカー各社の輸送基地15カ所が被災しており、復旧のめどはたっていない。各社では、内陸部や日本海側の輸送基地などからの供給ルート確保に努めており、現状では東北地方での引き合いが少ないこともあって問題は生じていない。

【生コンクリート・東北地区】

軽油の調達難は徐々に改善されているものの、震災前の状況には戻っていない。セメントも、近隣工場・輸送基地の被災により長距離輸送を余儀なくされており、入荷までに時間を要しているもよう。軽油、セメントともに、今後、災害復旧工事が本格化した際に安定調達が可能か懸念される。

※ 東北地方太平洋沖地震の呼称について、政府が閣議決定した震災名「東日本大震災」に変更しました。

【問い合わせ先】

財団法人 経済調査会

土木第一部・土木第二部

TEL 03-3543-1471

【鉄鋼製品供給状況】

■東北、関東地区 流通業者

◇東北（仙台）地区

関東からの海上輸送中継地である小名浜港、仙台港、八戸港などが地震と津波被害を受けたこと、福島・宮城・岩手県沖が大量の流木等の影響により内航船が航行できないことなどから、震災発生から3週間経った現在も、仙台を中心とする被災地区への鋼材供給は十分な状態ではない。メーカー、流通業者は、関東地区からの陸上輸送と合わせて西日本地区から下関回りで東北地区日本海側（主に新潟、酒田港）へ海上輸送を行い、必要となる鋼材の供給手配を行っているが、時間がかかっているのが現状。

◇関東地区

関東最大の鉄鋼ヤードである浦安鉄鋼団地内は、地震による地盤沈下、液状化現象の影響を受け、未だに鋼材製品の出荷が出来ない特約店が多数ある。東北地区への供給は同団地からの陸上輸送も大きく関わっていることから、復旧工事は急ピッチで進められているが、団地内の液状化による二次災害の発生もあり、復旧作業を慎重に進めている。定尺品の供給機能は徐々に回復しているが、加工業者の設備復旧は暫く時間を要する見込みで、現在も7～8割程度の稼働。

また、震災の影響を大きく受けた茨城県内は、茨城北部（北茨城地区）、ひたちなか（日立港、那珂湊港等）、鹿行地区（鹿島港）いずれも急ピッチで復旧工事が進められている。一部の港湾設備は輸送業務を再開しているが、施設の完全復旧にはまだ時間を要する見込み。

■高炉メーカー

新日本製鐵(株)

◇岩手県

- 釜石製鉄所：工場停止中。津波の被害により構内の一部が冠水し、港湾設備の被害が発生。設備復旧と線材製品の生産出荷に向けて現地調査中。今週中には圧延設備の一部が再開する見込みだが、完全復旧には相当の時間を要する見込み。

◇千葉県

- 君津製鉄所：工場稼働中、各種製品は製造、出荷可能。地震による被害はなく、現在は震災前の生産水準に回復。君津共同火力発電所向けの熱供給を優先している影響から休止中の設備が一部あり。

JFEスチール(株)

◇神奈川県

- 東日本製鉄所（京浜地区）：工場稼働中、各種製品は製造、出荷可能。地震直後に高炉を休風したが、設備に被害が無かったことから3月13日から高炉への送風を再開。現在は、計画停電の影響等を見ながら製造を行っている。

◇千葉県

- 東日本製鉄所（千葉地区）：工場稼働中、各種製品は製造、出荷可能。地震直後に高炉を休風したが、設備に被害はなかったことから3月14日から高炉への送風を再開。現在は、計画停電の影響等を見ながら製造を行っている。

住友金属工業(株)

◇茨城県

- ・ 鹿島製鉄所：工場は一部稼働中。溶接軽量 H 形鋼、鋼管杭、大径管に続き、厚板工場が稼働を再開。稼働を開始した製品の製造、出荷を順次、再開している。地震の影響で構内に火災が発生し、各所に地震による損傷を受けたが、復旧作業を進め、地震直後に休風した高炉は現在、2 基共に送風を再開。

■電炉メーカー

東京製鐵(株)

◇栃木県

- ・ 宇都宮工場：工場稼働中。製鋼、圧延ともに再開し、製品の出荷可能。

J F E 条鋼(株)

◇宮城県

- ・ 仙台製造所：工場停止中、製品の出荷不可。地震と津波により一部設備に損壊と水没被害が発生したが、現在、工場の再開を目指し、復旧作業を進めている。

◇茨城県

- ・ 鹿島製造所：工場は一部稼働中、製品の出荷は一部で再開。地震の影響で一部設備に損壊被害が発生したが、復旧作業を進め、製造を一部で再開している。給水、電力供給等の影響を見ながら操業中。

合同製鐵(株)

◇千葉県

- ・ 船橋製造所：工場稼働中、各種製品は製造、出荷可能。設備に大きな被害なし。計画停電の影響を見ながら操業中。

東京鋼鐵(株)

◇栃木県

- ・ 小山工場：工場稼働中、各種製品は製造、出荷可能。設備に大きな被害なし。計画停電の影響を見ながら操業中。

東京鉄鋼(株)

◇栃木県

- ・ 本社工場（小山）：工場稼働中、各種製品は製造、出荷可能。地震の影響で一部設備に損壊被害が発生したが、製造を再開。計画停電の影響を見ながら操業中。

◇青森県

- ・ 八戸工場：工場稼働中、各種製品の製造、出荷可能。津波被害を受けた工場の復旧作業が終了し、通常の操業水準で稼働を再開。

(株)伊藤製鐵所

◇宮城県

- ・ 石巻工場：工場停止中、製品の出荷不可。地震と津波による被災から、現在、操業を停止中。被害の詳細は不明。

◇茨城県

- ・ 筑波工場：工場稼働中、各種製品は製造、出荷可能。設備に大きな被害なし。計画停電の影響を見ながら操業中。

東北スチール(株)

◇宮城県

- ・ 本社工場（仙台）：工場停止中、製品の出荷不可。地震と津波により一部設備に損壊被害が発生。現在、工場の再開を目指し、復旧作業を進めている。

■他メーカー

(株)クボタ

◇千葉県（鋼管杭等、土木製品）

- ・ 京葉工場（船橋）：工場稼働中、各種製品は製造、出荷可能。設備に大きな被害はないが、工場内敷地の一部や周辺道路に液状化現象による影響あり。計画停電の影響を見ながら操業中。
- ・ 京葉工場（市川）：工場稼働中、各種製品は製造、出荷可能。設備に大きな被害はないが、工場内敷地の一部や周辺道路に液状化現象による影響あり。計画停電の影響を見ながら操業中。

日鐵住金建材(株)

◇宮城県（中径角形鋼管等の角パイプ類、等）

- ・ 仙台製造所：工場停止中、製品の出荷不可。地震と津波による被害が発生し、工場内が冠水。現在、操業を停止し、設備の被害状況を確認中。

◇栃木県（C形鋼等の軽量形鋼類、軽量鋼矢板、デッキ類、等）

- ・ 野木製造所：工場稼働中、各種製品は製造、出荷可能。設備に大きな被害なし。計画停電の影響を見ながら操業中。

J F E 建材(株)

◇埼玉県（デッキ類、軽量鋼矢板、等）

- ・ 熊谷工場：工場稼働中、各種製品は製造、出荷可能。設備に大きな被害なし。計画停電の影響を見ながら操業中。

◇千葉県（デッキ類、等）

- ・ 千葉工場：工場稼働中、各種製品は製造、出荷可能。設備に大きな被害なし。計画停電の影響を見ながら操業中。

尼崎製罐(株)

◇宮城県（C形鋼等の軽量形鋼類）

- ・ 石巻工場：工場停止中、製品の出荷不可、関係会社による代替製造、出荷は可能。地震と津波による被害が発生し、工場内が冠水。現在、設備の被害状況を確認中。軽量形鋼類は、当該工場のための製造となるため、関係会社による製品供給を行っている。

東洋電業(株)

◇千葉県（C形鋼等の軽量形鋼類）

- ・ 船橋工場：工場稼働中、各種製品は製造、出荷可能。設備に大きな被害なし。計画停電の影響を見ながら操業中。

第一パイプ工業(株)

◇神奈川県（C形鋼等の軽量形鋼類、中径角形鋼管等の角パイプ類、等）

- ・ 川崎工場：工場稼働中、各種製品は製造、出荷可能。設備に大きな被害なし。計画停電の影響を見ながら操業中。

【セメント供給動向】

セメント協会まとめによる平成 23 年 2 月期の国内販売実績（輸出を除く）は、340 万 452 t、前年同期比 1.6%増と 2 カ月ぶりに前年実績を上回った。しかし東日本大震災発生以降東北地方を中心に需要が急減。激甚被災地における需要はほとんどない状況で、3 月期は前年同期比 5%もの減少が予想されている。

震災の影響により操業を停止した工場は太平洋セメント・大船渡工場、三菱マテリアル・岩手工場、八戸セメント・本社工場、日立セメント・日立工場であった。このうち、日立セメント・日立工場が 3 月 27 日からセメント生産を再開しており、現在操業停止中の工場は 3 工場となっている。なかでも特殊セメントの生産を担っている太平洋セメント・大船渡工場の操業停止は低熱ポルトランドセメント他の供給懸念をもたらしているもようだ。同工場は低熱セメントの国内需要のおよそ 6 割を生産しているが、太平洋セメントにおける低熱セメントの出荷は、東京の輸送基地の在庫が無くなり次第、できなくなる見込みとなっている。その他品種についての生産体制については問題ないもよう。

一方、供給面においては東北地方を中心に工場や輸送基地（サービスステーション）に震災被害を受けたメーカーが多い。特に仙台港・小名浜港に集中していた各メーカーの輸送基地 15カ所では復旧のメドが立っていない状況である。メーカー各社は、内陸や日本海側などの輸送基地を拠点とした流通の整備に努めている。現状、東北地方においては引き合いが少なく流通面での問題は生じていないもようだが、中長期的には遠距離輸送を懸念する向きも少なくない。

セメントメーカー各社は今年度4月からの値上げを打ち出していたものの、大震災により氣勢をそがれたかたちとなっており、一部では値上げ時期を先送りする動きもある。当面、価格は横ばいで推移しよう。

【生コンクリート供給状況・東北地区】

1. 生コンクリート

1) 青森県

(1) 太平洋沿岸部

○八戸

地区内7工場（所在地：八戸市、三戸町）中、6工場（同）が設備稼動に問題なし。1工場（八戸市）は津波被害の復旧中。軽油の入手難は改善し、現在は問題ない状況。セメントは、メーカーの在庫分の入荷のみで、規模を縮小して出荷対応中のため影響は出ていないが、今後、復旧工事が本格化する際には、入手難が懸念される。

(2) 内陸・陸奥湾沿岸・日本海沿岸部

稼動に問題のある工場はない模様で、基本的には通常の出荷体制に戻っている。ただし、現状は需要が応急措置での小口取り引きが多く、一部地区では先行き引合いが増えた場合のセメントと軽油の調達に関し不安を残している。

2) 岩手県

(1) 太平洋沿岸部

○久慈

地区内4工場（所在地：久慈市、洋野町）が設備稼動に問題なし。軽油の入手難は改善しつつある。セメントは、現在大口の引合いが無いため影響は出ていないが、先行きは入手難が懸念される。

○宮古

地区内5工場（所在地：宮古市、山田町、田野畑村）が設備稼動に問題なし。軽油の入手難は改善し、現在は問題ない状況。セメントは、現在小口出荷のみのため影響が出ていないが、今後、復旧工事が本格化する際には、秋田港など遠方の被害のないSSからの調達も検討している。

○釜石

地区内6工場（所在地：釜石市、大槌町、遠野市）中、4工場（釜石市、遠野市）が設備稼動に問題なし。2工場（釜石市、大槌町）は津波被害により停止中。軽油の入手難は改善し、現在は問題ない状況。セメントは、現在は生コン自体の引合いが少ない状況ではあるが、調達において問題はない状況。

○大船渡

地区内4工場（所在地：大船渡市、陸前高田市、住田町）中、2工場（大船渡市、陸前高田市）が設備稼動に問題なし。2工場は津波被害により停止中。軽油の入手難は改善し、現在は問題ない状況。セメントは、現在は生コン自体の引合いが少ない状況ではあるが、調達において問題はない状況。

(2) 内陸部

稼動に問題のある工場はない模様で、基本的には通常の出荷体制に戻っている。また、岩手県内では軽油の不足状況は他県に比べ改善が進んでいるもよう。セメ

ントについては、太平洋セメント大船渡工場の被災もあり、先行きの調達に不安を残している。

3) 宮城県

(1) 太平洋沿岸部

○気仙沼・南三陸

地区内4工場(所在地:気仙沼市、南三陸町)中、1工場(気仙沼市)が設備稼働に問題なし。1工場(同)は復旧中で近々の出荷再開を目指している。2工場(気仙沼市、南三陸町)は、津波被害甚大により連絡取れず、復旧時期も不明。軽油販売店の被災で入手難が継続。骨材調達もダンプが災害復旧作業へ回っていることで、入荷が良くない。

○石巻・松島

地区内8工場(所在地:石巻市、東松島市、女川町。アウト含む)中、7工場が設備稼働に問題なし。1工場(東松島市)は津波被害により停止中。軽油の入手難は改善しつつある。セメントは、現在大口の引合いが無いため影響が出ていないが、先行きは入手難が懸念される。

○仙台

地区内20工場(所在地:仙台市、多賀城市、名取市、大和町、川崎町、亘理町、富谷町。アウト含む)中、16工場(仙台市、名取市、大和町、川崎町、亘理町、富谷町)が設備稼働に問題なし。3工場(仙台市、名取市)は復旧中。1工場(多賀城市)は被害大きく再開未定。軽油の入手難は改善しつつあるが震災前の状況には戻っていない。セメントは、湾岸SSの被災で岩手や酒田からの調達に切り替わっているが、先行き復旧需要が立ち上がった際には、確保に不安が残る。

○亘理

地区内2工場(亘理町内)が設備稼働に問題なし。軽油の入手難は改善しつつあるが、未だ不足感がある。セメントは、未だ入荷が安定せず、こちらも不足感がある。

(2) 内陸部

県北の1工場(登米)は設備に被害があったが、以前より休業を検討しており修繕・再開は未定。県南の2工場(大河原・角田)は復旧中。

上記以外には稼働に問題のある工場は無い模様で、基本的には通常の出荷体制に戻っている。ただし、軽油の調達難については改善しつつあるが、依然不足感が残っている。また、セメントは湾岸部のSSの被災で調達ルートの変更もあり、安定して入らない状況が続いている。

4) 福島県

(1) 太平洋沿岸部

○南相馬

地区内10工場（所在地：新地町、相馬市、南相馬市、双葉町、楡葉町）中、1工場（相馬市）が設備稼動に問題なく、出荷可能であることを確認。他の9工場は、連絡の取れない状況が続いており、福島第一原発の事態による避難・屋内退避が影響しているものと見られる。

○いわき

地区内7工場（所在地：いわき市。アウト含む）中、6工場は設備稼動に問題なし。1工場は、復旧中で来週には稼動を再開予定。軽油の調達難は改善。セメントについては、関東や内陸部からの陸送でカバー出来ているが、復旧需要が立ち上がった際には、対応し切れるかどうか、不安が残る。

(2) 内陸部

稼動に問題のある工場はない模様で、基本的には通常の出荷体制に戻っている。軽油の入手難はかなり改善され、不足感は解消しつつある。セメントは、現状では新潟や関東からの調達でカバーされている。

5) 秋田県

稼動に問題のある工場はない模様で、基本的には通常の出荷体制に戻っている。軽油の入手難はかなり改善され、不足感は解消しつつある。セメントは、現状では新潟からの調達などでカバーされている。

6) 山形県

稼動に問題のある工場はない模様で、基本的には通常の出荷体制に戻っている。軽油の入手難はかなり改善され、不足感は解消しつつある。セメントは、現状では新潟から酒田を経由した調達などでカバーされている。